

ヤリイカ

分類：十腕形類 ツツイカ目 ジンドウイカ科  
 学名：*Loligo bleekeri*  
 英名：

北海道から九州にかけて分布するが特に北日本に多い、胴長(外套長)400mm、尾端はスルメイカほど鋭くなく鈍くとがる。鰭は菱形で外套長の半分位に達する、腕部は貧弱で長さも不揃いで板状歯の密接した吸盤が2列に並ぶ、触腕は比較的先端がふくらみ4列の吸盤が見られる。産卵は豆が莢の中に収まるように40~100ヶの卵が寒天状の袋の中に格納され海底に産みつけられる。

ヨーロッパヤリイカ*L. vulgaris*は地中海、英国から南アフリカ南端にかけて広く分布し、イタリア、スペインでは高く評価し賞味される。



ヨーロッパヤリイカ



*Loligo. sp*



ウミトサカ類

分類：ウミトサカ目 ウミトサカ科 (花虫綱八放サンゴ亜綱)  
 学名：各項に記載  
 英名：Soft coral

全世界の海洋に分布するが熱帯海域に特に多く水深数mから100m位の海底の岩礁に生息し海のお花畑として潜水者の目を充分に楽しませてくれる。サンゴ類と同様ポリプの集合した群体で、その表面はポリプで派手に飾られてはいるが危険を感じると共肉の中に退縮する。

ポリプの先端は口が開き、その周りには8本の触毛がある。群体は多肉質で骨格や骨軸をもたないが共肉の外皮や共肉そのものに石灰質の小骨片があって意外に固く、骨片の形は種により異なるので分類の際の極め手となる。ウミトサカ類の赤や橙色はカロチノイドを含むため、体色の変異の著しい種も少ない。

底部は粘着盤や走根で岩礁に付着するが、木の根のようなもので砂地に固着しているものもある。



ウミイチゴの一種  
*Ptilosarcus sinuosus*



テノヒラウミトサカ  
*Alcyonium palmatum*



ウミアザミ (ウミアザミ科)  
*Xenia hicksoni*



ヒメウミトサカ  
*Alcyonium sp*